

文部科学省研究開発指定校 3年次

未来の社会を創り出す子どもを育てる

概念ベースの探究カリキュラム開発

～概念ベースの探究カリキュラムの汎用的モデルの構築～

次期学習指導要領を先取りする！



令和8年度

研究会案内

大学生・附属学校教員は
すべて無料！！

春

探究カフェ

対面・無料

6月26日（金）

6学年の未来探究科の公開授業・交流会

秋

秋の共同研究発表会

平野地区五校園共同開催・無料

10月31日（土）

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の公開授業
特別支援学校の実践発表

冬

教育研究発表会

参加費 1000円

2月12日（金）・13日（土）

未来探究科・各教科の公開授業・実践交流会
講演会

京都大学
石井英真先生の
ご講演も！！



地域



自然



文化



幸福

大阪教育大学附属平野小学校

〒547-0032 大阪府大阪市平野区流町1-6-41

TEL 06-6709-1230

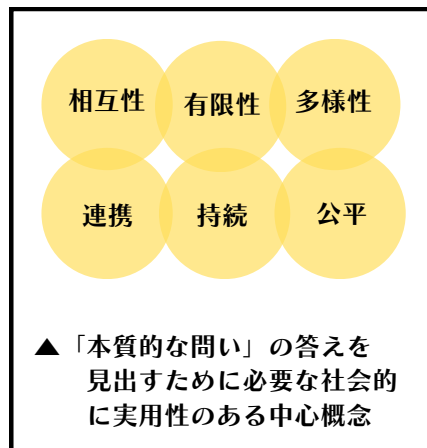
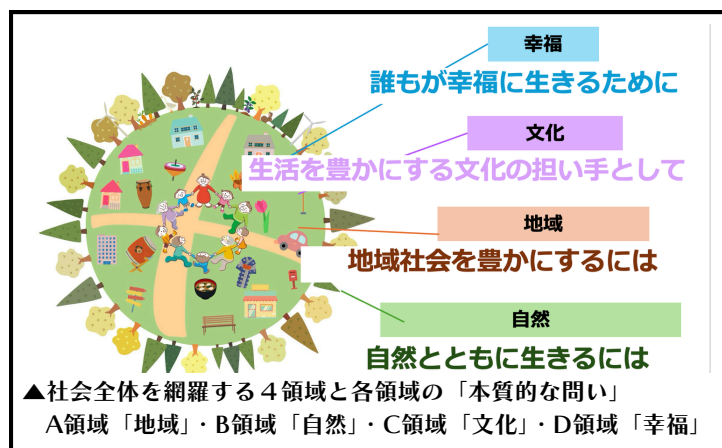
後援申請中 大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・堺市教育委員会



「中核的な概念を中心とした目標・内容の構造化」

Q:個別の知識の集積に止まらない概念としての習得や深い意味理解を促すとともに、学ぶ意味、社会やキャリアとのつながりを意識できる学習に向けて、各教科等の中核的な概念等を中心とした、目標・内容の一層わかりやすい構造化とは？

A:「概念ベース」の探究カリキュラムの開発に取り組みました。社会全体を網羅する4つの領域それぞれに「本質的な問い」を設定し、「本質的な問い」の答えを見出すために必要となる「中心概念」を設定しました。資質・能力として「概念」と「方略」の2つの側面を組み合わせる「創造する力」を設定しました。「創造する力」において身につける力を構造的に明示し、「実用的で学問的な学び」の実現をめざしています。



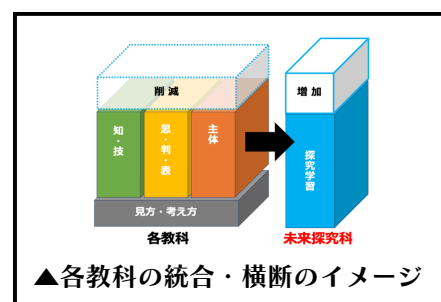
諮問から捉える本研究の特徴

次期学習指導要領を先取りするとは？

「柔軟性・弾力性のある教育課程」「自己調整」

Q:興味・関心や能力・特性に応じて子どもが学びを自己調整したり、各教科等の標準時数に係る柔軟性や学習内容の学年区分に係る弾力性を高めたりする教育課程の編成とは？

A:各教科の資質・能力をプロジェクト学習に統合・横断し、年間280時間の探究学習を中核に、すべての教育課程を編成し直し、カリキュラム開発に取り組んでいます。探究学習と並行させて、児童自身が学びを調整する時間として、「CT（コーディネートタイム）」を設定しました。



「質の高い探究的な学び」

Q:質の高い探究的な学びを実現するための学習の改善・充実とは？

A:社会全体を網羅する4領域において、多様な文脈で社会や他者に働きかけるカリキュラムを具現化しました。総合的な学習の時間の探究的な学習のプロセスである「課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現」に新たに「価値づけの時間」を加えました。「価値づけの時間」では、中長期的に学習を振り返り、自己の成長や対象の変容を捉え、自分の生き方・考え方を追求したり、社会に対しての新たな意味や価値を見出したりすることをめざしています。



▲「価値づけの時間」におけるフィードバック面談の様子